

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 6 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	唐津スマートレジリエンス拠点構築事業												
補助事業者名	唐津市												
補助事業の概要	唐津市浄水センターを中心としたエリア（以下「唐津スマートレジリエンス拠点」という。）に様々な再エネ設備や蓄電リソース等を導入することで、本エリアのエネルギー構造高度化等を図り、さらに防災機能を併せ持った拠点として構築、さらに市民等にその効果を情報発信することで、市内全体のエネルギー構造高度化に向けた理解促進を図ることを目的とし、事業を実施した。												
総事業費	87,010,000 円												
補助金充当額	87,010,000 円												
事業終了時点で達成すべき成果目標【必須】 （提案書から転記）	○理解度調査 「見える化」によるエネルギー構造高度化への理解度調査を実施した結果において、唐津市浄水センター来場前に比して市民等の理解度が向上したとの回答の回収率 70%。（来場者等には未就学児も含まれるため、未就学児は対象外。）												
事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況【必須】	来場者に対し行ったアンケート（「設問 1：再生可能エネルギーと災害時の利活用について総合的な理解は深まりましたか？」）結果では、「非常に深まった」「深まった」の回答の回収率が 100%となった。												
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標【任意】 （提案書から転記）	○防災力の向上 市内への本事業モデルの横展開に向け、将来的に唐津市地域防災計画への明記に努める。 <table border="1" data-bbox="459 1370 1410 1563"><thead><tr><th>目標項目</th><th>2027 年</th><th>2030 年 (累計)</th></tr></thead><tbody><tr><td>1. 本モデルを市内他地域に展開</td><td>1 箇所</td><td>2 箇所</td></tr></tbody></table> ○削減効果の増加 令和 7 年度以降の電気代コスト削減及び CO2 排出量削減効果を増加させる。 <table border="1" data-bbox="440 1760 1426 1872"><tbody><tr><td>1. 電気代コスト削減効果（年間）</td><td>約 1,149 千円/年</td></tr><tr><td>2. CO2 排出量削減効果の増加（年間）</td><td>約 14,910kg-CO₂/年</td></tr></tbody></table> ※電気代コスト削減効果は、2023（令和 5 年度）事業結果をもとに算出。 ※CO2 排出量削減効果は、九州電力の 2022 年度の調整前 CO2 排出係数 0.407kg-CO ₂ /kWh にて算出。			目標項目	2027 年	2030 年 (累計)	1. 本モデルを市内他地域に展開	1 箇所	2 箇所	1. 電気代コスト削減効果（年間）	約 1,149 千円/年	2. CO2 排出量削減効果の増加（年間）	約 14,910kg-CO ₂ /年
目標項目	2027 年	2030 年 (累計)											
1. 本モデルを市内他地域に展開	1 箇所	2 箇所											
1. 電気代コスト削減効果（年間）	約 1,149 千円/年												
2. CO2 排出量削減効果の増加（年間）	約 14,910kg-CO ₂ /年												

<p>事業終了後、将来的に達成すべき成果目標の達成状況【任意】</p>	<p>以下項目の実現に向けて取り組みを推進中である。</p> <p>○防災力の向上 市内への本事業モデルの横展開に向け、唐津市地域防災計画への明記に努める。</p> <table border="1" data-bbox="496 387 1369 577"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>2027年</th> <th>2030年 (累計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 本モデルを市内他地域に展開</td> <td>1箇所</td> <td>2箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>○削減効果の増加 電気代コスト削減及びCO₂排出量削減効果を増加させる。(2025年度から算出)</p> <table border="1" data-bbox="440 775 1426 887"> <tbody> <tr> <td>1. 電気代コスト削減効果(年間)</td> <td>約1,149千円/年</td> </tr> <tr> <td>2. CO₂排出量削減効果の増加(年間)</td> <td>約14,910kg-CO₂/年</td> </tr> </tbody> </table> <p>※電気代コスト削減効果は、2023(令和5年度)事業結果をもとに算出。 ※CO₂排出量削減効果は、九州電力の2022年度の調整前CO₂排出係数0.407kg-CO₂/kWhにて算出。</p>		目標項目	2027年	2030年 (累計)	1. 本モデルを市内他地域に展開	1箇所	2箇所	1. 電気代コスト削減効果(年間)	約1,149千円/年	2. CO ₂ 排出量削減効果の増加(年間)	約14,910kg-CO ₂ /年
目標項目	2027年	2030年 (累計)										
1. 本モデルを市内他地域に展開	1箇所	2箇所										
1. 電気代コスト削減効果(年間)	約1,149千円/年											
2. CO ₂ 排出量削減効果の増加(年間)	約14,910kg-CO ₂ /年											
<p>補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ:間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)</p>	<p>契約(間接補助)の目的</p> <p>契約の方法</p> <p>契約の相手方(間接補助先)</p> <p>契約金額(間接補助金額)</p>	<p>唐津スマートレジリエンス拠点構築事業企画調査等委託業務</p> <p>(1)「見える化」の仕組みの実証・検証</p> <p>(2)ソーラーカーポート設置工事</p> <p>(3)定置型蓄電池設置工事</p> <p>随意契約</p> <p>株式会社九電工 唐津営業所</p> <p>87,010,000円</p>										
<p>来年度以降の事業見通し</p>	<p></p>											

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 事業終了時点で達成すべき成果目標の欄、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標には、それぞれ、補助金応募申請書提出時に設定した、「①事業終了時点で達成すべき成果目標」、「②事業終了後、後年度で達成すべき成果目標」の記載を転記すること。
- 3 事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標の達成状況の記載については、それぞれに対応する形で、成果目標の達成状況及び達成状況についての評価を記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。